

公立大学法人宮城大学理事長・学長の業務執行状況の確認について

令和2年1月30日

公立大学法人宮城大学学長選考会議

公立大学法人宮城大学学長選考会議では、川上伸昭理事長・学長の任期が2年を終了したことから、学長となる理事長の業務執行状況の確認に関する基準（平成28年5月24日学長選考会議決定）に基づき、書面及びヒアリングによる確認を通じて、業務執行状況の確認を行った。

川上伸昭理事長・学長に対する業務執行状況の確認結果は、下記のとおりである。

記

川上理事長・学長は、就任以来、建学の理念・精神を踏まえ、教職員と連携しながら優れたリーダーシップを発揮し、業務を適切に執行しているものと認められる。

学長選考会議としては、川上理事長・学長には、引き続き、宮城大学理事長・学長として、大学改革等の諸課題に取り組んでいただくことを期待する。

（学長選考会議における主な所見）

- ・ 宮城大学の研究力の向上と教育の充実を図るため、教職員が十分な時間を確保できるよう、働きやすい職場環境づくりに努めることを期待する。
- ・ 実学の尊重、実践力の教育には、社会情勢や産業構造の変化への対応が重要であるため、より一層、実業界との緊密な交流を促進することを期待する。
- ・ 学群での教育はリベラルアーツを充実させ、専門的な教育や研究は大学院を中心に行うなど、宮城大学の大学と大学院における教育の特徴を明確化していくことを期待する。
- ・ 地域連携センターについては、さらなる機能の拡充に努め、企業、自治体等との実効性ある連携を推進していくことを期待する。